福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	三和地域活性化事業							事業コード	020110130312		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充				
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132		
事業担当	所属	020800 市民生活部三和支所				所属長	横田 貴裕				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	78	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	三和荘等施設管理運営事業、三和地域交流拠点施設整備事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・三和ふれあいフェスティバルは、三和地域外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベントである。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。 ・当地域の人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループ、多様化する活動内容の受け皿として、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着している。 ・令和6年度からは、従前の工業団地の駐車場及びシャトルバスを廃止し三和荘グラウンドを駐車場にしたことで、よりコンパクトなイベントを実現している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 基本的には地域住民で組織される実行委員会が協議・決定・準備をしているが、一部の業務や人材等で市の支援を必要としているのが現実である。今後、準備や作業等に関して実行委員一人ひとりが準備から本番、片付けに至るまで、より主体的に実施する必要がある。また、実行委員の高齢化も進み、組織体制自体の維持も危ぶまれることから、若年層及び中年層の取り込みを意識した企画等の立案及び実行が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 三和ふれあいフェスティバルは、三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントである。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展示、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・地域主体のイベントである「三和ふれあいフェスティバル」に対する助成。 ・運営は実行委員会で行い、対象経費の1/2に対し、市の補助金を交付する（令和2年度及び3年度は、新型コロナ感染症対策によるイベント中止のため未実施）。

対象者	三和地域の市民及び一般参加者	対象者数	4,500	単位あたりコスト	0.6	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	三和ふれあいフェスティバル実行委員会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	500	三和ふれあいフェスティバル実行委員会補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	950	500	500	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		950	500	500	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	950	500	500	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	950	500		
	③ 執行額	427	500		
	④ 執行率	44.9%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.19 / 0.19	0.23 / 0.19	/	/
	② 概算人件費	2,052	2,372		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		2,479	2,872		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	三和地域活性化事業基金繰入（地域振興基金）	種類	基金繰入金	実績金額	500	決算附属資料	36

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	1,000	2,500	3,800	2,600		
	来場者数	目標値		4,500	2,000	3,000	4,000	4,000	
		達成度	%	22%	125%	127%	65%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	5	5	3	6		
	広報手段数	当初見込		5	5	5	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	実行委員会を密に行い、様々な課題の検討及び合意形成を行うことで、運営の機運を高め魅力あるイベントづくりを実現し、集客の増進を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	団体	44	64	64	68		
	延べ参加団体数	目標値		65	65	65	65	65	
		達成度	%	68%	98%	98%	105%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	4	4	4	4		
	実行委員会開催回数	当初見込		5	5	5	5	5	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	実行委員会を密に行い、実行委員会事務局において、口コミ等による参加団体の募集や広報を行うことで、団体の継続的な参加や新規参加団体の獲得を図る。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・当地域の人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループ、多様化する活動内容の受け皿として、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着している。 ・将来的に人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。 ・地域の活性化に繋がる内容を検討しつつ、地域住民主体の実行委員会による運営を継続する必要がある。
現状の課題に対する改善策	・三和ふれあいフェスティバルについては、実行委員会を中心に地域住民で作り上げる、三和地域の交流促進、地域活力の向上のための最も重要なイベントであり、引続き企業や住民などから寄付金を募り、住民が一丸となって存続を図る。 ・実行委員会において、事務局を中心に現状の諸課題について検証、改善を図りながら、持続的な実施方法を検討する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	地域振興センター管理事業					事業コード	020110130205		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充			
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得				施策コード	132		
事業担当	所属	021000 市民生活部大江支所			所属長	岸本 範義			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料 77 頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 昭和63年3月に完成した地域振興センター（京都丹後鉄道宮福線の大江駅を兼ねる大江町商工物産会館）。 京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設であり、（社）福知山地域振興社及び福知山市商工会の円滑な業務により、大江地域を訪れる方々にきめ細やかな対応が期待できる施設である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 駅利用者（特に観光利用）の快適性向上のため、施設の老朽化に対する対策（各設備の改修）が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設の特徴を活かし、大江地域を訪れる方々へ大江地域の魅力を発信する施設としての機能を高める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・当施設は京都丹後鉄道大江駅と連結する大江地域の玄関口であり、（社）福知山地域振興社、福知山商工会や河守地区公民館など各種団体が様々な活動を行っている。観光客始め利用者が満足できる適切な維持管理を実施する。 ・施設使用組織・団体等：（社）福知山地域振興社（物販、コワーキング、鬼瓦資料館、真下飛泉資料館）、福知山市商工会本所、河守地区公民館 ・令和7年度は商工会部分の空調更新を実施した。 ・大江まちづくり住民協議会による大江の由良川流域の魚を展示する「ミニミニ水族館」の設置に協力を行った。
対象者	大江駅利用者ほか　　対象者数 41,993　　単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	オリックスファシリティーズ(株)、(株)岩見電器

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	1,936	光熱水費（電気料、上下水道料） 施設修繕料（エアコン取替え修繕）			
役務費	36	手数料（ごみ処理手数料） 保険料（建物共済分担金）			
委託料	350	維持管理業務（施設清掃業務）			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,951	2,256	900	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,951	2,256	900	
予算財源内訳	① 一般財源	1,433	787	578	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	518	1,469	322	
決算情報	① 流充用額	△ 87	65		
	② 配当予算	1,864	2,321		
	③ 執行額	1,837	2,321		
	④ 執行率	98.6%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.08 / 0.00	0.08 / 0.02	/	/
	② 概算人件費	640	696		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		2,477	3,017		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	自動販売機設置貸付収入（大江支所）	財産貸付収入	96	31	
	地域振興センター管理事業基金繰入（地域振興施設維持補修基金）	基金繰入金	908	37	
	大江町地域振興センター（自販機電気代）	雑入	27	42	
	地域振興センター占有者負担金	雑入	257	45	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	34,244	38,678	37,051	41,993		
	大江駅乗降者数	目標値		50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
		達成度	%	68%	77%	74%	84%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	3	3		
	大江駅周辺イベント回数	当初見込		3	3	3	3	4	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域振興センター全体の適正管理を行い、利用者の満足度を向上させる。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 令和7年度は大江まちづくり住民協議会による「ミニミニ水族館」の設置に協力するなど関連団体と連携して施設魅力向上に取り組んだ。 昭和63年竣工のため経年劣化が進んでいるが、大江地域の玄関口として観光客や訪問者が快適に利用できる環境を整備する責務がある。施設の美観維持や設備等のメンテナンス、インバウンド対策など現代的なニーズに対応するとともに、入所団体と連携し団体のイベントの開催や、物販機能の強化を通じて当該施設の魅力向上を図る必要がある。
現状の課題に対する改善策	当センターに隣接する施設は一律に老朽化している。（社）福知山地域振興社、大江まちづくり住民協議会、福知山商工会など関連団体と連携し、当センターだけでなくエリアを俯瞰し、持続可能な施設運営を目指した適切な維持管理と改修計画を立案する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ホームページ運営事業					事業コード	020102820107		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充			
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得				施策コード	132		
事業担当	所属	030200 市長公室秘書広報課			所属長	小林 智恵美			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	02文書広報費	会計	01 一般会計	決算附属資料 63 頁
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第6次福知山市行政改革実施計画		R8現在の状況	他事業へ統合
根拠法令等	—								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ホームページから市政、子育て応援関連、シティプロモーション関連、観光情報などを全国に発信することで、本市に対する理解と周知を図っていく。市民や市外の人にとって、利用価値のあるホームページとなるよう、頻繁に情報の更新を行うことで内容の充実を図る。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・全職員が、ホームページ更新を含め、市民が必要とする情報を迅速かつ分かりやすく発信していく必要がある。 ・生成AI時代を踏まえ、検索されやすく、AIにも正確に参照される情報構成とするとともに、引き続き情報の正確性・信頼性を確保する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 本市のリアルタイムな情報を発信し、市民サービスを充実するとともに、本市の魅力を広く発信する。さらには、災害など有事の際に、迅速、的確な情報を伝えることで、市民の安心・安全な暮らしを確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・各担当課によるホームページの更新 ・緊急情報の迅速・適切な発信

対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	福泉（株）				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	70	SNS更新用タブレットの通信費			
委託料	879	ホームページ運営保守管理業務			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	915	953	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		915	953	0	
予算財源内訳	① 一般財源	187	225	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	728	728	0	
決算情報	① 流充用額	37	0		
	② 配当予算	952	953		
	③ 執行額	952	949		
	④ 執行率	100.0%	99.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.50 / 0.00	0.13 / 0.05	/	/
	② 概算人件費	4,000	1,180		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,952	2,129		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
ホームページ保守業務負担金	雑入	105	47	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	250,802	163,270	156,026	158,099		
	市公式ホームページのセッション数（月平均）	目標値		150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	
		達成度	%	167%	109%	104%	105%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3,108	3,622	4,397	4,882		
	市公式ホームページへの更新回数	当初見込		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 平成31年2月28日にホームページをリニューアルし、今まで以上に利用者の利便性向上と事務の効率化を図り、広く市内外に本市の情報発信できる環境を整備した。また、災害時には専用のトップページに切り替え、アクセスが集中しても継続して情報発信することが可能となった。各担当課がページを作成し、秘書広報課で管理等を行いながら、的確な情報発信に努めている。また、ホームページリニューアル時に、議会事務局、市民病院、上下水道部のHPを市HPに統合、さらに令和元年度において消防のHPを統合することで、経費の削減を図った。令和6年度から発令されている熱中症警戒アラートについても、ホームページを中心に各SNSも活用し、迅速、的確に発信するなど、市民が求める情報を発信することができている。広告料収入は、令和元年度に広告代理店による営業から市の直接募集に切り替えて以降、減少傾向にあり、R7は皆減した。 課題は、引き続き全職員が、適切な広報のタイミングやアクセシビリティを理解して迅速かつ分かりやすく発信していくことと、生成AI時代に対応した正確で検索・参照されやすい情報発信を行っていくことである。
現状の課題に対する改善策	令和8年度から「広報ふくちやま発行事業」と「ホームページ運営事業」を統合し、「広報ふくちやま・ホームページ事業」とする。 インターネット上での福知山市の顔となるホームページは、魅力的で、見やすく、分かりやすい、更にはリアルタイムで情報の更新を行っていくことが重要である。 そのため、市職員全てが情報発信者である意識を持ち、効果的に情報発信するために、職員広報研修等により継続的に学ぶ機会を設ける。 各担当課でホームページ更新の承認ができる体制への移行を検討する。 また、リニューアルを行っている広報資料とホームページの掲載内容を連動させ、効率的に情報を充実・更新できる仕組みを整える。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	姉妹都市交流促進事業						事業コード	020112130112		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充				
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得					施策コード	132		
事業担当	所属	030200 市長公室秘書広報課			所属長	小林 智恵美				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12諸費	会計	01 一般会計	決算附属資料	83 頁
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 昭和58年3月1日に姉妹都市提携を行った長崎県島原市との交流事業であり、40年以上続いている事業である。継続的に島原市との交流を行っており、近年はお互いの市で開催するイベントでの物産展コーナーにおいて、それぞれの市から職員等を派遣して物産展の開催などを行っている。また姉妹都市締結記念日の前後には、お互いの市を紹介するパネル展を開催している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市民ぐるみで姉妹都市の交流を図るため、図書館や各支所など市民の方に御覧いただきやすい場所でのパネル展を実施しているほか、福知山マラソンでは島原市の方にお越しいただき物産展の出展やランナーとして出場いただいているが、毎年同じような事業となっており新たな取り組みが行えていない。そのため、まだ姉妹都市を認知されていない層への取り組み（SNSによる発信等）も必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 島原市と行政間だけでなく、市民ぐるみで、人・物・文化などの交流を促進し、相互理解や友好の絆を深める。この交流により「姉妹都市」を認知されるとともに姉妹都市となった経緯等も周知することで、市民の島原市に対する理解も深める。さらに、島原市民へ本市の情報等を発信することで本市の関係人口としてのファンの獲得にも寄与する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇島原城大手門市における物産展コーナーで、福知山市の特産品を販売 〇福知山マラソンの物産展コーナーにおいて、島原市の職員による島原市の特産品販売 〇「提携記念日行事（巡回パネル展・クイズ企画。PR動画上映）」の実施

対象者	福知山市民・島原市民 （令和7年9月末時点）	対象者数	115,000	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	78	島原市における福知山物産展の出店旅費			
需用費	23	提携記念日記念品購入			
役務費	11	運搬費、手数料（クリーニング代）			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	415	133	121	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		415	133	121	
予算財源内訳	① 一般財源	415	133	121	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	415	133		
	③ 執行額	335	112		
	④ 執行率	80.7%	84.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.09 / 0.18	0.10 / 0.16	/	/
	② 概算人件費	1,224	1,248		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		1,559	1,360		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	1,000	2,000	2,500	3,000		
	物産展等来場者数	目標値		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
		達成度	%	33%	67%	83%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	3	3	3		
	物産展等開催数	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	島原市と本市、相互に、イベントでの姉妹都市物産展の開催、また姉妹都市提携記念日におけるパネル展示により、広く市民に周知する。また開催の機会を創出できるよう、相手方の担当部署との連携を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	事業開始から40年以上が経過するものであるが、まだ市民へ姉妹都市の存在を浸透できておらず、特に旧三町に住民や若年層への周知が必要である。
現状の課題に対する改善策	物産展の開催やパネル展の実施など持続的に行うとともに、より広く来場していただけるよう広報の強化を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ふくちやまサポーター拡大事業							事業コード	020112810560		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち					政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充			
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得							施策コード	132	
事業担当	所属	030600 市長公室ふるさと応援課					所属長	土田 信広			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12諸費	会計	01 一般会計	決算附属資料	84	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	地方税法等										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	－										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 平成20年度にスタートしたふるさと納税制度は、今やショッピング感覚で返礼品を選ぶ1兆円規模の「市場」となっている。財源確保のため、全国の自治体が返礼品開発に取り組み、魅力的な返礼品を持つ自治体に寄附が集中するようになっている。ここで言う魅力的とは、コストパフォーマンスがよく、使いやすい食べ物や日用品のことで、魚介類、牛肉、フルーツに大きな人気が集まっている。市民も他自治体に寄附をするため、どの自治体も競争に参加しなければ一人負けする状況に置かれている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ふるさと納税制度の実態は返礼品競争であり、税外収入による財源確保として市内の資源を生かし、どうやって寄附申込を集めていくかということが第一に取り組むべき大きな課題となっている。そのためには本市の地域資源の中から申込を集めることができる返礼品の開拓や開発が必要となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 人口減少や都市圏への人口集中が加速するなか、市民の力や市外の方の力を活かしたまちづくりを進めていくため、多様な形で関わっていただく方々（関係人口）を増やすことが重要となっている。そこで関係人口の拡大を進めるため、地域の魅力やふるさと納税などの情報を発信して、福知山市に魅力を感じ、継続的に応援してくださる方々の拡大を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ターゲット①　市外のふるさと納税寄附者 ・各種ふるさと納税サイトでの寄附の受付・管理・運営　・ふるさと納税返礼品事業の開拓・開発、開発支援　・寄附者のスムーズな申込のサポート ターゲット②　市内外のふくちやまファン ・「いがいと！福知山ファンクラブ」会員の募集　・会員への本市の魅力を情報発信（ダイレクトメールによる）

対象者	市外居住者	対象者数	－	単位あたりコスト	－	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	（株）さとふる、楽天（株）、（株）トラストバンク、（株）アイモバイル、（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社　他					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	46,609	返礼品代金（委託料対象以外のもの）	負担金補助及び交付金	3,838	私立学校応援交付金、返礼品創出支援補助金など
旅費	148	ポータルサイトや返礼品事業者との打合せなど	積立金	460,961	ふるさと納税基金への積立
需用費	163	払込取扱票、御礼状の印刷など			
役務費	8,235	ふるさと納税広告掲載など			
委託料	339,192	ポータルサイト掲載、受発注管理、返礼品開発、寄附者対応など			
使用料及び賃借料	34	高速道路通行料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	465,332	617,183	1,036,457	0
	② 補正予算	100,800	275,759	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	566,132	892,942	1,036,457	
予算財源内訳	① 一般財源	36,291	13,352	31,518	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	529,841	879,590	1,004,939	
決算情報	① 流充用額	△ 4,293	△ 19,493		
	② 配当予算	561,839	873,449		
	③ 執行額	527,508	859,180		
	④ 執行率	93.9%	98.4%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.47 / 0.50	2.25 / 0.20	/	/
	② 概算人件費	5,160	18,560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		532,668	877,740		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	福知山市ふるさと納税寄附金	総務費指定寄附金	841,789	33	
	ふくちやまサポーター拡大事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	3,442	38	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	110	76	121	140		
	ふるさと納税額目標達成率	目標値		100	101	102	103	104	
		達成度	%	110%	76%	121%	140%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	品	500	750	950	1,110		
	ふるさと納税の登録返礼品数	当初見込		―	―	900	1,100	1,200	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・ふるさと納税返礼品の開拓・開発【対象：返礼品事業者】 ・ふるさと納税返礼品ページの改善・SEO対策【対象：返礼品事業者、寄附者】 ・ふるさと納税サイトの運営【対象：返礼品事業者、寄附者】								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	3,470	3,655	3,752	3,888		
	いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数	目標値		3,300	3,550	3,700	3,800	3,900	
		達成度	%	105%	103%	101%	102%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	10	10	10	10		
	会員募集に関する情報提供回数	当初見込		10	10	10	10	10	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・SNSによる情報発信【対象：SNSフォロワー、ふるさと納税寄附者、その他】 ・加入キャンペーンの実施【対象：既存会員、SNSフォロワー、ふるさと納税寄附者、その他】								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	ふるさと納税では、令和5年度に中間事業者を導入し、寄附者に選ばれやすい返礼品開発や返礼品ページの構築を行った。総務省のルール改正、主力返礼品の製品リニューアルに伴う取扱い終了等の要因により一時的に寄附額が低下したが、次第にサイト特性に応じた運用、中間事業者と連携した商品開発や返礼品事業者とのコミュニケーションが成果を発揮し、令和6年度は約5.17億円、令和7年度は約8.41億円の寄附を集め、2年連続の過去最高の寄附額となった。 企業版ふるさと納税では、令和6年度4社の寄附実績から令和7年度は大幅増となる11社の寄附があり、寄附額も4,180万円となり過去最高額となっている。 課題としては、ふるさと納税市場が成熟期終盤を迎える中で、多くの自治体がふるさと納税に注力し、寄附先の選択肢が増え、これまで以上に競争が激しくなっている点が挙げられる。
現状の課題に対する改善策	令和8年度からは、寄附額の更なる拡大を目的として新たな中間事業者を選定しており、その連携の中で新たな返礼品開拓、定期便や高付加価値返礼品の開拓、特産品等の魅力を最大限に引き出すための画像や説明文の加工、検索エンジン最適化対策等を行い、継続的に福知山市を応援いただける関係人口の増加に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ふくちやまプロモーション事業							事業コード	020112820134		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充				
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132		
事業担当	所属	030600 市長公室ふるさと応援課				所属長	土田 信広				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12諸費	会計	01 一般会計	決算附属資料	84・85	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他	（ ）					
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 人口減少や少子高齢化が進む中、持続可能で発展性のあるまちづくりのため、国においても「関係人口」施策が推進されている。その入口として、本市の地域ブランドを高め、福知山ファンを増やす必要があり、例えばふるさと納税寄附者やイベント参加者といった接点のある人にファンクラブへの加入を促進するなど、継続的で多様な関係性を築くことが重要となっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・現在のファンクラブ会員や本市へのふるさと納税寄附者、訪問者は、大多数が本市に一定の認知がある「関心層」である。この層の方々に本市の施策を通じて関係人口になっていただき、本市への愛着を高めていただく必要がある。 ・最終的には、他課との連携の中で「関心層」であった方々が自ら積極的に地元住民と関り、地域の担い手となる「行動層」となっていただきたい。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 本事業は、まちづくり構想の施策1-3-2「関係人口としての福知山ファンの獲得」に位置づけられている。将来に向けて、市外の「福知山ファン」や市民がまちづくりの担い手や応援者となることを目的に、引き続き情報発信などのコミュニケーション活動を通じて、関係人口（多様な形で地域に関わる市外の人々）の拡大に取り組んでいく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ①地元産品をPRする都市部のイベントへの参加 ②SNSや動画を活用した特産品PR ③「福知山の変」新聞広告の実施、ドッコちゃん着ぐるみの活用 ④読者層を絞った紙媒体広告の出稿、地域産品ブランディングのためのクリエイティブ制作等
対象者	市内外の人々　　対象者数：ー　　単位あたりコスト：ー
実施方法	☑ 直接実施　☑ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他（ ）
委託先・実施主体等	株式会社文化企画、Scale-UP株式会社、株式会社福知堂

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	764	職員旅費（他市視察、イベント出展）	負担金補助及び交付金	404	アンテナショップディスプレイ等購入負担金、イベント出展負担金
需用費	1,328	プロモーション資材など消耗品費、ポスター印刷費など			
役務費	1,043	福知山の変広告料、通信運搬費			
委託料	4,219	特産品プロモーション業務委託、プロモーションコンテンツ制作業務委託			
使用料及び賃借料	1,472	デジタル・モノクロ複合機使用料、会場使用料			
備品購入費	409	プロモーション備品、画像・動画編集用スマートフォン			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	31,733	12,178	17,153	0
	② 補正予算	0	1,922	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		31,733	14,100	17,153	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	4,425	
	② 国支出金	15,850	6,606	5,991	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	15,883	7,494	6,737	
決算情報	① 流充用額	△ 3,023	△ 4,463		
	② 配当予算	28,710	9,637		
	③ 執行額	27,980	9,637		
	④ 執行率	97.5%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.86 / 0.95	2.41 / 0.80	/	/
	② 概算人件費	25,540	21,520		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		53,520	31,157		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	ふくちやまプロモーション事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金）	総務費国庫補助金	2,966	14	
	ふくちやまプロモーション事業（京都府ふるさと応援交付金）	総務費府補助金	2,486	21	
	いがいと！福知山ポロシャツ販売収入	物品売払収入	386	32	
	ふくちやまプロモーション事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	3,703	38	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	3,470	3,655	3,752	3,888		
	いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数	目標値		3,300	3,550	3,700	3,800	3,900	
		達成度	%	105%	103%	101%	102%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	10	10	10	10		
	会員募集に関する情報提供回数	当初見込		10	10	10	10	10	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・SNSによる情報発信【対象：SNSフォロワー、ふるさと納税寄附者、その他】 ・加入キャンペーンの実施【対象：既存会員、SNSフォロワー、ふるさと納税寄附者、その他】								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	本市はこれまでのシティプロモーションにおいて、まちに変化を起こそうと挑戦する市民を紹介し、市全体で応援を呼び掛ける『福知山の変』企画など、市民を主体にしたプロモーション活動に取り組んできた。令和7年度より、ふるさと応援課の設置を契機に市外住民にターゲットを絞り、関係人口の拡大に特化する方針となったが、本市の大きな特徴でもある魅力的な地元産品や市内事業者の思いを紹介するなど、市民や市民が生み出すものを通してふるさと福知山を応援していただくためのシティプロモーションを展開している。その中で、都市部で「スイーツのまち」「丹波栗の産地」であることなどを紹介するふるさとPRイベント参加においては、認知獲得に加え、想定以上の新規ファンクラブ市外会員も獲得しており、効果的な魅力発信が図れている。 「いがいと！福知山ファンクラブ」では、令和6年度市内外を含めた総会員3,969人から令和7年度は4,111人となっており、メルマガ配信による情報提供など、良い関係構築に努めている。特産品だけでなく、市の施策を紹介する雑誌出稿や動画製作なども行い、まちに共感を持っていただくためのきっかけづくりに取り組んだ。 現在、国において、住所地以外の地域に継続的に関わる方々を登録する「ふるさと住民登録制度」について、令和8年度制度構築に向けた取組が行われている。本市においても、「いがいと！福知山ファンクラブ」などの既存の枠組みを生かした、本市ならではの「ふるさと住民登録制度」の構築が必要である。
現状の課題に対する改善策	既存のファンクラブ会員や、ふるさと納税寄附者を、関係人口として将来的なまちづくりの担い手になってもらうよう、継続的な関係づくりの体制構築やファンクラブのサービス向上等に取り組んでいく。 また、国の「ふるさと住民登録制度」の制度構築に係る情報収集を行いつつ、ファンマーケティングに専門的な知見を持つ民間企業との連携を図り、本市への関係人口の獲得に努めていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	大呂自然休養村管理事業							事業コード	060102220201		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充				
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得						施策コード	132		
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	06農林業費	項	01農業費	目	02農業総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	150	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和9年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例、同施行規則										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・昭和50年に「地域の環境を整備し、地域の特性に即した観光農業を計画的、組織的に推進し、都市生活者に休養の場を提供するとともに農業従事者の就業機会の増大を得る自然休養村の中枢機能をはたす」施設として自然休養村センターを大呂に開設。 ・平成28年度に施設の建替えを実施し、現在はグラウンドゴルフ場、キャンプ場、大呂ガーデンテラスが設置されている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・都市住民を呼び込むための地域の中核施設である大呂自然休養村センターを活かした、適切な施設運営が必要。 ・地元雇用や地元産食材の活用、地元資源を活かした体験活動など地域と連携した取組が必要
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを活用することで施設の有効活用を図る。 ・豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図り、福知山ファンの獲得につなげる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・令和5年度から5年間、（同）FNA BASEを指定管理者として運営を行い、指定管理者が持つ経営等の民間ノウハウを活用することで、宿泊、グラウンドゴルフ、キャンプ等への集客を図り、効率的に施設の管理運営を行った。

対象者	施設利用者	対象者数	14,998	単位あたりコスト	1.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☑ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	（同）FNA BASE、（株）キクチコンサルタント福知山支店、（株）環協技研					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	154	原水槽ポンプ修繕			
役務費	131	建物総合共済金分担金			
委託料	8,499	指定管理料、キャンプ場トイレ地質調査ほか			
備品購入費	67	グラウンドゴルフ場トイレ温水洗浄便座			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	8,428	9,728	8,336	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		8,428	9,728	8,336	
予算財源内訳	① 一般財源	8,285	8,285	8,195	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	1,300	0	
	⑤ その他特財	143	143	141	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	8,428	9,728		
	③ 執行額	8,182	8,852		
	④ 執行率	97.1%	91.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.22 / 0.00	1.00 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	9,760	8,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		17,942	16,852		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	電柱占用料（農林整備課）	種類	農林使用料	実績金額	141	決算附属資料	8

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	1,222	1,402	1,678	1,546		
	宿泊者数	目標値		1,930	1,320	1,400	1,550	1,550	
		達成度	%	63%	106%	120%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	315	313	313	317		
	施設開館日数	当初見込		311	311	311	311	311	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・指定管理者と毎月面談を行い、運営状況の確認と現場での課題把握等を行う。 ・施設の修繕及び改修を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・宿泊者数やレストラン利用は着実に増加しており、宿泊者及びキャンプ場利用者の半数以上は市外からの利用であることから、事業目的に沿った施設運営ができている。 ・さらなる施設利用者数の増加を図る取組が課題である。
現状の課題に対する改善策	・より多くの人に施設を知ってもらうために、指定管理者と連携しながら市としても施設のPR強化を図る。